

鹿児島県市日中友好協会と鹿大中国留学生学友会（国際大学学友会も含む）コラボ企画

## 晩秋の宮崎・小林の自然を満喫する1日バスツアー

コース：小林市から265号線を上る（陰陽石・三宮峡・すきむらんど）巡ります。

内容 日時 2012年（今年）12月8日（土） 朝8時集合、 8：20出発  
集合、出発場所 鹿児島大学図書館前にバスが来ます。  
バスは大型（45名乗り） 2台 募集 参加者 90名  
参加費用 1500円（うち500円は弁当代ーお茶付を含む）当日持参  
参加者予定 協会関係日本人 20名 中国人 70名

- 中国人参加希望者は 封烽（鹿大留学生学友会会長）電話：080-3907-8411 に電話またはメールで申し込んで下さい。[Fengfeng8411@hotmail.com](mailto:Fengfeng8411@hotmail.com)  
大学生以外の中国人も参加OK、志学館大学、鹿女子短大も可です。
- 協会関係は大石慶二企画部長まで 電話 090-6775-0311 [kjoishi3@gmail.com](mailto:kjoishi3@gmail.com)

### 旅の詳細

高速道路、小林ｲｯﾀｰ下車（出の山公園から国道265線を上り、『陰陽石』観光からスタートします。



昼前に、小高千穂峡と称される『三宮峡』で遊びます。結構、歩きます。少し寒いかも知れません。いやかなり寒いかも知れません。ダウンジャケットの用意が必要？



### 三之宮峡遊歩道

三之宮峡遊歩道は、小林市街地から車で約15分、清流で知られる岩瀬川の上流(浜の瀬川)に広がる溪谷、「三之宮峡」にあります。42～66年まで、木材を運ぶために使われていた川沿いのトロッコ道(5キロ)のうち、第1トンネル付近から橋満橋付近までの約1キロを78年、遊歩道として整備しました。1キロの間には11のトンネルがあるほか、小林市の有形文化財に指定されている「橋満橋(はしみつばし)」や「残したい日本の音風景100選」に選ばれた「櫓の轟」、水の浸食でできた奇岩「千畳岩(せんじょういわ)」などがあります。平成14年9月には「遊歩百選」(読売新聞社)にも選ばれています。秋には見事な紅葉が楽しめます。



**三之宮峡遊歩道**は以前、木材を運ぶためのトロッコ道でした。岩山をくり貫いた十一ある手掘りのトンネルも、そのトロッコが通るためのものです。一つのトンネルは、三カ月かけて掘られたそうです。最長50m～最短11mのトンネルは昼間も暗くひんやりとしています。長いトンネルは人が入ると自動的に電灯が点くようになります。(電灯が点いてもかなり暗いですが。)



#### 屏風岩

高さ32m、幅60mからなる岩肌。  
屏風のように見えることからこう呼ばれています



#### 河童洞

畳50枚ほどの広さがある洞窟です。  
月明かりの夜、人影のないときに河童達が遊

んでいるそうです。

一度入ったら二度と出てこれないと言われる、伝説の洞窟です。



#### 櫓の轟(やぐらのとどろ)

落差7.5m、水深3m。

櫓(やぐら)は、火の見櫓のように高いという意味です。

轟(とどろ)は、まわりの場所では沢音のように聞こえますが、

滝壺をのぞきこむと、淵にこもった滝音が轟わたることから、地元の人がいつからともなく、櫓の轟と呼ぶようになった、ということです。 現地案内板より



#### 千畳岩

霧島火山群に属する

輝石安山岩であり、岩質は熱変成や侵食等の風化作用により、亀裂を有する軟岩Ⅱに分類される。正に畳をしきつめたように見えることから「千畳岩」と呼

**午後の訪問地は『スキムランド』になります。**

昼食をとったあと、吊り橋を渡ったり、湖にでて、遊んだり、自由に九州の奥の自然を満喫して貰います。

綾の大吊橋のするか、ここにするか、大いにスタッフで検討しましたが、こちらの方が楽しめるかと判断しました。正しかったか、(正解だったか)は行ってみないと分かりません。



